

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ナチュラルこどもハウス鶴見区店		
○保護者評価実施期間	2025年1月16日		～ 2025年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年1月16日		～ 2025年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・作品展	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、1つのテーマに向けて、児童全員で作品を作り上げていく。 ・作品を作る前に、何を、どの資材を使って作るのか等、事前に全児童が考えて取り組んでいる。 ・作品展の日は、保護者の方にお越しいただき完成した作品を観る時間を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1つのテーマから児童が作品の完成に期待感をもつことができるよう心がけていく。 ・作品展のテーマを児童が話し合い決められるよう取り組んでいく。
2	・児童の特性に応じた集団活動と個別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の個別支援計画書に応じて、集団活動と個別活動を設定している。 ・児童が楽しく取り組むことができるよう、興味・関心のある活動を心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの重要性を意識しながら、常日頃から職員間で情報共有をしていく。
3	・保護者様との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や電話等で、保護者の方に様子を伝える機会を設けている。また、連絡帳では活動中の写真も載せており、活動中の様子が伝わりやすいように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や電話、連絡帳だけではなく、保護者様の要望に応じて、事業所で情報共有をする時間を確保していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリーが不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関から療育室に入るまでに、階段があるため、今後、車椅子を使用する児童に対して、環境設備が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、児童と保護者様が安心安全に通うことができるよう、必要に応じて改善できる部分があれば随時改善していく。
2	・保護者様同士の交流の機会	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会を開催した場合の準備時間の確保が課題と感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・減らせる業務は減らし準備時間の確保に努めていく。また保護者様の意向も踏まえ、親子向けの機会でも保護者様同士が情報交換できる場を企画し、提供することができるよう取り組んでいく。
3	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を作るために、必要な準備時間の確保が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、削減できる業務は減らし、放課後児童クラブや児童館との連携を図り、交流会等のイベントを年間の行事に組み込んでいけるか検討していく。